



橋本侃教授

略 歴

- 1942 年 神奈川県で生まれる。
- 1966 年 成城大学文芸学部英文学科卒業（文学士）
- 1968 年 青山学院大学大学院文学研究科英米文学専攻修士課程修了（文学修士）
- 1971 年 青山学院大学大学院文学研究科英米文学専攻博士課程単位取得満期退学
- 1973 年 神奈川大学外国語学部専任講師
- 1978 年 神奈川大学外国語学部助教授
- 1988 年 神奈川大学外国語学部教授
- 1988 年 神奈川大学在外研究員（オックスフォード大学）（至 1989 年）
- 1999 年 神奈川大学大学院外国語研究科英文学専攻博士前期課程教授
- 2003 年 神奈川大学大学院外国語研究科英文学専攻博士後期課程教授
- 2009 年 神奈川大学名誉教授

主な著書

- 『ヘキュバのために―シェクスピアの主人公に与えた選択肢―』（欧友社、2007 年）
- 『謎解きシェクスピア』（南雲堂、1996 年）
- 『英語文学事典』（共）（ミネルヴァ書房、2007 年）
- 『イギリスアメリカ児童文学ガイド』（共）（荒地出版社、2003 年）
- 『英文学と英語学の世界』（共）（御茶の水書房、2003 年）
- 『芸能と祭祀』（共）（勁草書房、1998 年）
- 『イギリス文学ガイド』（共）（荒地出版社、1997 年）

主な論文

- 「ローマのほうをより大事にしたからだ―比較対照構文に見るブルータスの選択肢―」神奈川大学大学院『言語と文化論集』13 号、2007 年
- 「用意が一番（The readiness is all）―ハムレットの選択肢―」『神奈川大学言語研究』28 号、2006 年
- 「それ以上でも、それ以下でもなく」ずばり、そのもの―『リア王』に見る比較構文と心象の絡まり―『神奈川大学言語研究』23 号、2001 年
- 「聞くだけで、見るだけで、信じ込む―オセロの意味論的な認識過程―」『神奈川大学言語研究』22 号、1999 年
- 「『よりいい』は『いい』より『いや』―比較構文に見るマクベスの選択肢―」『神奈川大学言語研究』21 号、1999 年